

「第37回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議」

令和2年9月3日（木）15時00分
都庁第一本庁舎 7階特別会議室（庁議室）

【危機管理監】

それではただいまより第37回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催いたします。

まずお手元の資料に従いまして私の方から状況についてご説明をいたします。資料1枚おめくりください。世界各国の感染の状況です。感染者数が2,570万。それから死亡者数85万6,000。国内につきましては、6万8,000の感染者数と、1,300名を超える死亡者が出ております。都内の発生状況に関しましては昨日19時半の時点で、2万1,128名という状況になっております。

資料2枚おめくりください。一番下のところ下線部、国の動きになりますが、8月28日、第42回の新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催されております。皆様のお手元にはその対策本部会議で使われました資料、右肩に参考と書いてある資料をお配りしております。この会ではコロナ感染症に関する今後の取組ですとか、あるいは国際的な人の往来の再開などについて話し合われております。後程、資料についてはご参照いただければと思います。

資料を3枚おめくりください。下線部の都の対応のところになります。9月1日から9月15日までという形で都内23区内の酒類の提供伴う飲食店及びカラオケ店を対象に、朝5時から夜10時までの営業時間短縮の要請を延長しているというところでございます。

資料1枚おめくりください。新型コロナウイルス感染症への各局の対応になります。総務局の欄の一番下の下線部になりますが、感染症の影響により離職をされた方々を対象にいたしまして、非常勤職員の採用等を緊急募集で実施をしております。

次は、政策企画局は1枚おめくりいただきまして中程のところ下線部です。新型コロナウイルス感染症の蔓延防止等のための対策を推進するために、学校法人北里研究所と連携協定を8月28日に締結をしております。

資料2枚おめくりください。上の方になります。生活文化局のところになりますが、広報東京都9月号の2面・3面におきまして、感染症対策条例の改正、登録店舗のマップ、給付金・相談窓口等の支援策について掲載をしているところです。各局の取り組みにつきましては以上になります。

資料5枚おめくりいただきまして、A4横のカラー刷りの資料のところをご覧ください。本日、第9回目のモニタリング会議を実施をいたしました。その時に感染状況、医療提供体制の分析等について報告をされております。この内容につきまして、健康危機管理担当局長

からご説明お願いいたします。

【福祉保健局健康危機管理担当局長】

はい。それではご説明申し上げます。

新型コロナウイルス感染症にかかりますモニタリングにあたりまして専門家の方々からいただきました、都内の感染状況及び医療提供体制に関する分析結果についてご報告を申し上げます。

感染状況につきましては、①新規陽性者数から、③新規陽性者における接触歴等不明者まで3項目となっております。現在の数値は9月2日公表時点での数値が記載されております。専門家の方々からは、新規陽性者数と接触歴等不明者数は減少傾向にあるものの、その速度は緩やかであること。感染者数の再増加に厳重な警戒が必要であることなどから、4段階のうち、最高レベルの「感染が拡大していると思われる」との総括コメントをいただいております。

続いて、医療提供体制についてでございますが、④の検査の陽性率から、⑦重症患者数までの4つとなっております。専門家の方々からは医療機関への負担が長期化していること、重症患者数、今後の推移に警戒が必要であることなどから4段階のうち、3段階目にあたる「体制強化が必要である」と思われるとの総括コメントをいただいております。

私からは以上でございます。

【危機管理監】

ありがとうございました。

資料につきましてはそこから1枚おめくりいただきまして5枚にわたりまして専門家の皆様によりますモニタリングのコメント意見等、細部お付けをしておりますので、後程ご参照ください。

資料につきましては、後程スライドで使う資料が添付をしておりますが、6枚めくっていただきましてA4の縦の資料が一番後ろについていると思います。

本日の会議のテーマでございますが、令和2年度の9月の補正予算案についてです。資料をつけておりますので、これも後程ご参照いただければというように思います。

このほかこの場にご出席いただいております局長等の皆様で何かご発言等ある方いらっしゃいますか。よろしいですか。

Webexでご参加の皆様の中で、ご発言等ある方いらっしゃいましたら挙手をお願いします。よろしいですか。

それでは本会議の締めといたしまして本部長からご発言をお願いしたいと思います。

【都知事】

はい。連日ご苦労様でございます。第37回になりました、対策本部会議であります。

本日第9回のモニタリング会議を行いまして、先生方からは先週に引き続いて、感染状況は最高レベルの4段階目「感染が拡大していると思われる」。そして、医療提供体制については、3段階目「体制強化が必要であると思われる」との総括コメントをいただきました。

健康危機管理担当局長から、分析結果の報告がございましたが、感染状況につきましては新規陽性者数は減少傾向にはあるものの、その速度は緩やかであること。感染者数の再増加に嚴重な警戒が必要な状況であること。医療提供体制については、医療機関への負担が長期化している。重傷の患者数の今後の推移に警戒が必要な状況である。ということをご報告していただきました。

また、大島町で5名の感染者が発生をいたしました。現在、濃厚接触者約400名のPCR検査を進めているところでございます。そしてその結果ですね、陽性者が発生をした場合には、原則としましては島内で静養すること療養することとしまして、体調が急変した場合にはヘリによる搬送ということになります。早急にスピード感を持って、検査を行って、皆様に安心していただけるように取り組んで参ります。

それから現在23区内のお酒を提供する飲食店、カラオケ店には、9月の15日までの間、夜10時までの営業時間の短縮を要請をいたしております。事業者の皆様方には、引き続きのご負担をおかけいたしますけれども、何卒ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

そして、続きましてはですね、令和2年の第三回定例会に提案をいたします、補正予算案について取りまとめをいたしましたので、発表をいたします。

まず、感染拡大を阻止する対策、経済活動を支えるセーフティネットの強化・充実を図る施策を、時期を逸することなく実施をするために、総額といたしまして3,413億円の補正予算案を提出をいたします。今回がコロナ対策としては、今年度で9回目の9度目の補正予算となります。そしてこれまで講じて参りました対策の総額は、約1兆6,000億に上るところであります。約1.6兆円となります。

そして予算の柱であります、第1に、感染拡大を阻止する対策として、882億円の計上となります。これから冬に向かいます、インフルエンザの流行期に入るわけですが、コロナの同時流行によって医療機関に負担が集中する。そのことをですね、避ける必要がございます。そこで、重症化リスクの高い高齢者のインフルエンザ予防接種を促進するために、ワクチン接種の実費の負担分を補助しまして、本人負担をゼロにするというものであります。それによる特別補助の実施ということになります。

このほか、検査体制の強化、患者受け入れのための空床確保など、引き続きまして、医療提供体制の十分な確保と強化に努めて参ります。

また、新たに、高齢者施設や障害者の支援施設などにおきまして、入所者や職員のスクリーニング検査など、積極的にPCR検査を実施をするという、そのための都独自の支援を行って参ります。

さらに、東京版CDCの運用開始をするための経費を計上をいたします。

第2に、経済活動と都民生活を支えるセーフティネットの強化と充実には、1,740億円を計上をいたします。中小企業の資金繰り需要が増大しているということを踏まえまして、融資目標額、これまでは2兆5,000億といたしておりましたが、それを3兆8,000億円まで引き上げまして、必要となる預託金を増額するというものであります。

また、東京の特産品の販路拡大を後押しをするということで、インターネット上のショッピングサイトを活用しました、特産品の販売を支援をして参ります。

第3に、感染症防止と経済社会活動との両立を図る取り組み、87億円の計上です。感染防止徹底宣言ステッカー、この実効性を高めるために業界団体と連携をいたしまして、ステッカー掲示店舗の自主点検の取り組みの支援、アドバイザー派遣による感染防止対策の強化、これらを図って参ります。また、旅行需要が大きく減少している現在、宿泊施設の新たなビジネス展開と、多くの職場で進んでおりますテレワーク、このさらなる定着に向けまして、宿泊施設をテレワーク利用をする際の経費を支援をして参るということです。

第4に、社会構造の変革を促しまして直面する危機を乗り越える取り組みでございまして、こちらは2億円。特別支援学校におけます児童・生徒のICT学習環境の整備を今年度中に前倒しをして、1人1台のタブレット配備を進めるなど、オンライン学習の実現に向けました取り組みを加速させて参ります。

以上、補正予算案の内容でございます。

今回の補正予算案に盛り込みました施策によりまして、感染の拡大の防止、そしてセーフティネット対策を着実に進めていくとともに、秋冬に向けて万全の備えを講じていくために、どうぞ皆さん庁内一丸となって取り組んでいきたいと思っております。頑張ってください。よろしくお願いいたします。以上です。

【危機管理監】

ありがとうございました。以上をもちまして、第37回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議を終了いたします。